

令和7年度3回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日 時

令和7年10月1日（水） 午後1時30分から午後2時50分

2 場 所

青梅市役所3階 議会棟第3委員会室

3 出席者

[出席委員]

菊池 一 夫 委 員

川 合 純 委 員

清 水 久 員 委 員

岩 浪 岳 史 委 員

宇 津 木 順 一 委 員

下 野 剛 委 員

輪 千 邦 子 委 員

宿 谷 朋 香 委 員

[出席青梅市職員]

大勢待市長以下10名

4 議事概要

(1) 市長あいさつ

明日から、ドイツのボッパルト市、イタリアのオーメ市を訪問する。海外の都市との交流の話は、他にも複数件いただいており、今後、活性化する兆しがある。

本日は、忌憚のない意見交換を行っていただきたい。

(2) 委員長あいさつ

西欧諸国では、各国でインフレや、不法移民問題など、国の歳費の使い方の問題などで、大きな国民運動がおこり、各国の体制が大きく揺れている。日本でも10月から、3,000品目もの物価が更に値上がりして、厳しい国民生活が強いられている。

また、日本は国家社会主義でもないのに、民間企業に対して強い賃上げ圧力が求められている。資材高騰で舵取りが難しいなかでの賃上げである。

最近の国政では民間企業や国民・市民との立場の違いや不満が顕著に表れてきている。支援が何もない民間は、真っ向勝負で稼ぎ出さなければならない。

公官庁は、税金での賃上げである。人件費等の経費が増え、行政サービスの予算がないという事にならなければ良いと思う。ここが行財政のポイントの一つではないか。

(3) 議題

1 委員による意見交換の進め方について

【DX推進課長説明】

- ・事務局提案の進め方に決定

2 令和7年度意見交換テーマの決定について

【DX推進課長説明】

- ・テーマとして、「人口減少と地域行事の参加減少」、「財政問題と産業の育成」、「市民参加・コミュニティ活動」を包括的に扱うことに決定

3 その他意見交換について

【DX推進課長説明】

- ・青梅市第7次総合長期計画（冊子）の見方について
- ・あるべき姿について、次回委員会で引き続き協議

【企画政策課長説明】

(4) その他

【DX推進課長説明】

次回委員会は、令和7年12月に開催予定。

5 意見交換における主な意見等

＜令和7年度意見交換テーマの決定について＞

【意見】 8つのテーマについて、共通性のあるものがある。1番「人口減少と地域行事の参加減少」と8番「市民参加・コミュニティ活動」、2番「不登校問題」と6番「教育と若者育成」、3番「行財政改革の視点」と7番「財政問題と産業の育成」は、重なりがある。4番「地域連携・格差是正」と5番「外国人の増加と対応」も市民参加と融和性がある。

【意見】 時間が限られているため、議論を適度に絞る必要がある。

【意見】 各委員がどこを取り組みたいかについて、これから議論していくが、それぞれ考え方も違うため、どう進めていくかまず整理すべきと感じる。

【質問】 行政側としての課題感は、いかがか。

【回答】 8つのテーマそれぞれに課題感は有している。

【意見】 4番のテーマ「地域連携・格差是正」について、西多摩で核となる青梅市の役割について関心が高い。

【意見】 日頃、女性と女兒のために活動していることから、不登校問題への関心が高い。また、自治会の活動や学校・地域との関りが薄れている点が気になっている。保護者の中でもリーダーが不在であったりする。関心が高いのは、1番、2番、6番、8番のテーマになる。

【意見】 人口減少が気になる。人口が増えないとできないことが多い。若者が増えないと地域は苦しくなる一方。いろんな国から声がかかっているとの話があったが、青梅はすごく住みやすくいい地域と思っており、いまひとつ良さが伝わってないのかなと感じている。関心が高いのは、1番のテーマになる。

【意見】 日頃、自治会との関連もあるが、商工会議所に関わっているため、7番の財政問題を推したい。他のテーマもどれも重要であるため、決まったものに対して真摯に取り組みたい。

【意見】 財政問題は重要であり、青梅市が豊かになるため、市の中心産業の育成や財源確

保に課題がある。さらに、住みよい街にするため、教育問題、市民参画について検討を進めたい。手間をかけた交流の重要性が人と人を結びつける土台と感じている。関心が高いのは、6番、7番、8番のテーマになる。

【意見】 8つとも重要なテーマである。会計士であるため、財政健全化を推したい。人口減少は避けて通れないが、青梅は住みやすいと感じている。昼間の人口を増やすだけでもよい効果があるのではないかと。ワーケーションであるとか、地の利を生かした取組が考えられる。関心が高いのは、1番、7番のテーマになる。

【意見】 これまでの行革委員会で、防災や広報、観光、高齢化、子育て支援そういった分野を結構見てきている。今回は違った角度からの議論なのかなと思うが、これまでの課題は解決していないので、それを念頭に課題を見たとき、人口減少、中心産業の育成で議論していくのがいいのかなと思った。あとは市民参加も絡めたい。関心が高いのは、1番、7番、8番のテーマになる。

【意見】 委員により意見が分かれる結果となった。教育は教育委員会に委ね、行革委員会としては、1番や7番、8番になるのかなと思う。

【質問】 先ほど市長より、海外都市から交流のオファーが色々きているとの話があったが、どのようなきっかけか。

【市長】 サイパンは、トライアスロン関係を中心に、30年以上のつながりがある。インドネシアは、西多摩に住む経営者の紹介である。ネパールは、日本ネパール協会の関係者が青梅に住んでいるといったご縁である。

【意見】 色々な観点で魅力がある青梅市なので、魅力の深堀をしてはどうかと思った。

【質問】 総じて、1番や7番、8番の意見が多かったと感じるが、事務局の考えは。

【回答】 1番、7番、8番のテーマを包括的に扱うことでよい（事務局）

⇒テーマとして、「人口減少と地域行事の参加減少」、「財政問題と産業の育成」、「市民参加・コミュニティ活動」を包括的に扱うことに決定

<その他意見交換について>

【意見】 人口減少については、長計で掲げられている数字を目指す施策を議論できれば良いと考えた。市民参加については、参加者が主体的か受動的かの違いがあり、主体的に参加できる環境があることが必要と考えた。財政については、ふるさと納税の具体的なPR手法が示せれば良いのではないかと考えた

【意見】 働く者の感覚として、東芝や日立が人口に寄与していたと感じる。そういった働き口があって、移住者と企業の発展が市の発展につながっている。出生率を上げるのは難しく、そういう方法が良いと思う。

【意見】 青梅市の基幹産業は何であるか。青梅市の魅力を深堀して考えることは良いと思う。

【意見】 長期計画はきちんと体系的につくられているが、具体性は乏しい。市の魅力に絞

って戦略的に、重点的に議論してはどうかと考えた。そこにむかっていくあるべき姿についてなど。

【意見】 長期計画にあるべき姿や課題は整理されていて、そこに具体性がかける部分を委員会で施策の深堀をするのも一案かと思う。

【意見】 産業を増やして働き場があって、子どもを育てられてということだと思う。

【意見】 議論の対象から外れるが、若者を育てる教育についても扱えると良いと感じた。西多摩連携でできる環境整備も重要と考えた。また、自治会は、現役世代の時は無頓着であったが、活動する側に立つと、市民に有益な活動をしており、発展させられると良いと考える。

【意見】 昭和 26 年以降の青梅市のあゆみも振り返っておくことも大事と考える。そのようにして、将来を見る観点も大事と考える。

⇒あるべき姿について、次回委員会で引き続き協議とする。

以 上